

思いやりの心を育む～体育祭を通して～

人は人の中で成長すると考えています。
相手を支え、相手に支えられ、思いやりのある和の中で温もりを感じ。

一方で、人とのつながりの中で、悩み傷つくこともあります。
そのときこそ、成長のチャンスと捉え、
人との適度な距離感や言葉の使い方を考えたりして
自分自身を見つめてみましょう。
ひと回り大きくなったあなたがいます。

ただ、なかなか解決しないこともあります。
そんなときは信頼できる人に相談したり本を読んだりするといいと思います。
自分一人で考えて解決できたらいいのですが、上手くいかないのも現実ですね。
また、自分だけの思いや考えだけがよいと思うのではなく、
信頼できる人や本に頼って、ヒントを得たらいいのではないのでしょうか。
頼ることは甘えではなく、自立への一歩だと思います。
自分の考えを広げ深めるチャンスですもの。

ただ、人にすべてをお願いし、自分の代わりにやってもらうのはどうでしょうか。
自分と相談して、できることやできそうなことにはチャレンジしていきましょう。
つまずきを恐れずに。
「つまずきイコール成長」とある本で読みました。

さて、体育祭はみんなで創り上げていくものです。
運動を通してみんなとともに汗してプレーする、
助け合いながら創り上げる、というねらいもあります。

人と人のつながりの中で、創り上げていく体育祭は、
思いやりの心を育むチャンスでもあります。

思いやりの心を相手に伝えるには、
相手にとってふさわしい言葉がけと手助けが大切だと思います。

体育祭を通して、
これらのことは何かを考えて、あなたなりに実践し、
マキ中生自慢の思いやりの心をさらに大きくすることを願っています。